

プログラム

11 月 12 日 (日) ~ 11 月 14 日 (火) パネル展示 環境省、北海道、釧路市、産業界等

11 月 12 日 (日)

14:00 ~	開会式		
14:30	主催者挨拶	北川 知克	環境大臣政務官
	協力者代表挨拶	北海道知事	伊藤 芳和 (釧路支庁長) 代読
	来賓代表挨拶	(調整中)	
14:30 ~	パネルディスカッション		
16:00	「私たちの暮らしと化学物質」		
	司会	池上 彰	(フリージャーナリスト)
		三井 ゆり	(タレント)
	パネリスト	青山 博昭	(財)残留農薬研究所毒性部副部長兼生殖毒性研究室長)
		蒲生 昌志	(独)産業総合研究所化学物質リスク管理研究センター リスク管理戦略チーム チームリーダー)
		原田 靖之	(三菱化学(株)環境安全・品質保証部 部長代理)
		北窓 隆子	(環境省環境リスク評価室長)
	(一般代表質問者)	福井 行雄	(広島県立広高等学校教諭)
		新庄 久志	(釧路市環境部環境政策課 湿地保全主幹)
		嵩 一成	((株)西友 CSR 推進室マネージャー)
		有田 芳子	(主婦連合会環境部長)

11 月 13 日 (月) 国際セッション

9:30 ~	セッション 1	化学物質の影響をどうとらえるか	
11:45		国際的な取組	
	コーディネーター	戸田 英作	(OECD テストガイドライン作業部会 議長)
	発表者	Michael J. Roberts	(Food and Rural Affairs, UK)
		Leslie Tourat	(Environmental Protection Agency, U.S.A.)
		武吉 正博	((財)化学物質評価研究機構安全性評価技術研究所 課長)
13:00 ~	セッション 2	子どもの環境リスクをどう捉えるか	
15:15		大人との違い	
	コーディネーター	佐藤 洋	(東北大学大学院医学系研究科環境保健医学 教授)
	発表者	内山 巖雄	(京都大学大学院工学研究科都市環境工学 教授)
		岸 玲子	(北海道大学大学院医学系研究科社会医学 教授)
		小川 尚	(WHO 西太平洋地域事務局環境保健地域アドバイザー)
15:30 ~	セッション 3	これまでに化学物質について何がわかったか	
17:45		内分泌かく乱作用に関する基礎的な研究の今	
	コーディネーター	井口 泰泉	(基礎生物学研究所分子環境生物学研究部門 内分泌学教授)
	発表者	John A. McLachlan	(Tulane University, U.S.A.)
		Cynthia V Rider	(NHEERL Research Triangle Park, U.S.A.)
		Gail Prins	(University of Illinois at Chicago, U.S.A.)
		諸橋 憲一郎	(基礎生物学研究所)

11 月 14 日 (火) 国際セッション

9:30 ~	セッション 4	化学物質のリスクをどう理解するか	
11:45		リスクコミュニケーションのあり方	
	コーディネーター	小出 重幸	(読売新聞社編集委員)
	発表者	岩本 公宏	((社)日本化学工業協会エンドクリン WS 主査)
		小若 順一	(NPO 法人 食品と暮らしの安全基金 代表)
		中谷内 一也	(帝塚山大学心理福祉学部社会心理学 教授)
13:00 ~	セッション 5	野生生物への影響を評価するために何が必要か	
15:15		科学的な野生生物観察のあり方	
	コーディネーター	濱口 哲	(新潟大学環境共生科学(生殖生物学)教授)
	発表者	酒泉 満	(新潟大学環境共生科学(遺伝学)教授)
		鈴木 仁	(北海道大学地球環境科学(生態遺伝学)助教授)
		三浦 郁夫	(広島大学両生類学(遺伝学)助教授)

10:00 ~ 16:00 スタディビジット(野生生物保護センター、釧路湿原等)